

報道関係・音楽関係の皆様



## 真夏のオーケストラの祭典「フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2023」 21日間・19公演の全ラインナップを発表！

ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市幸区大宮町 1310)は、2023年7月22日(土)～8月11日(金・祝)の21日間にわたり開催する真夏のオーケストラの祭典「フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2023」全ラインナップを発表いたします。

フェスタサマーミュージア KAWASAKI とは、川崎市とミュージア川崎シンフォニーホールが主催し、2005年から毎年夏に開催している音楽祭です。2023年は「お待ちどうサマー♪」を合言葉に、川崎市フランチイズオーケストラの東京交響楽団をはじめとする首都圏9団体、そして初登場となる山形交響楽団、日本センチュリー交響楽団を加えた全11団体のプロオーケストラが日替わりで競演します。

またジャズ公演では、この4月よりミュージアの新ホールアドバイザー(ジャズ部門)に就任するピアニスト/作・編曲家の宮本貴奈プロデュースによる「サマーナイト・ジャズ」で八神純子、佐藤竹善などの超豪華ゲストが一堂に会し華やかに祝います。

このほかパイプオルガン公演、子ども向け公演、市内大学公演と多彩なラインナップでお届けします。毎年ご好評いただいている公演前の「プレトーク」や「プレコンサート」、期間中に近隣提携店舗で割引やドリンクサービスなどが受けられる「パートナーショップ」、名物新聞「ほぼ日刊サマーミュージア」などもあわせて、この夏もぜひサマーミュージアをお楽しみください。チケットは4月27日(木)より順次発売、公演詳細は下記公式サイトをご覧ください。

- ・フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2023 公式サイト <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>
- ・お問合せ:ミュージア川崎シンフォニーホールチケットセンター 044-520-0200(10:00～18:00)

### 「フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2023」4つの注目ポイント >>詳細はP.3～

- Point 1) 「お待ちどうサマー♪」 コロナ禍で見送ってきた関連イベントが復活！
- Point 2) 各オーケストラが「原点回帰」、名曲&大曲で真っ向からオーケストラの魅力を競う
- Point 3) 旬のピアニストが大集合！サマーミュージア×ピアノ
- Point 4) 全国からは、山形交響楽団と日本センチュリー交響楽団の2団体が登場！

#### 【本資料に関するお問合せ】-----

ミュージア川崎シンフォニーホール 事業企画課 佐藤 044-520-0100(代) / [press@kawasaki-sym-hall.jp](mailto:press@kawasaki-sym-hall.jp)

>>プレス資料ダウンロード <https://link.directcloud.jp/02lsOnLiRM>

パスワード: FSMK2023 (使用期限 2023/8/31 まで)

## フェスタ サマーミュージア KAWASAKI とは

フェスタサマーミュージア KAWASAKI は、川崎市とミュージア川崎シンフォニーホールが主催し、2005 年から毎年夏に開催している音楽祭です。日本トップレベルのオーケストラの祭典として今年で 19 回目を迎え、また川崎市内にある2つの音楽大学、ミュージアが誇るパイプオルガンの公演や、子どもたちを対象とした公演、バレエやジャズなどを加えバラエティ豊かなコンサートをお贈りしています。

クラシック音楽の「新しい聴き方・楽しみ方」を提案し続けてきたサマーミュージアは、毎年約3万人が訪れる一大イベントに成長し、「音楽のまち・かわさき」を代表する音楽祭として、地元川崎市のみならず全国の音楽ファンのみならずから愛されています。

2021 年、第 33 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門《功労賞》を受賞。

現在、2022 年のクリップ映像を YouTube で無料配信しています(～7 月予定)。

➤ フェスタサマーミュージア KAWASAKI 公式サイト <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



# 1 フェスタサマーミュージーザKAWASAKI2023 開催概要

- [イベント名称] フェスタサマーミュージーザ KAWASAKI 2023
- [会 期] 2023年7月22日(土)～8月11日(金・祝) ※21日間
- [会 場] ミューザ川崎シンフォニーホール(17公演)  
昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワ(2公演)
- [公 演 数] 全19公演
- [主 催] 川崎市、ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
- [共 催] 昭和音楽大学(出張サマーミュージーザ@しんゆり!公演のみ)
- [後 援] 川崎市教育委員会、公益社団法人日本オーケストラ連盟、J-WAVE、TBS ラジオ

## 2 2023年の合言葉は「お待ちどうサマー♪」

長かったコロナ禍もようやく収束が見え、サマーミュージーザも2023年は原点回帰します。

コロナ禍で痛感したのは、目の前で生まれる一期一会の音楽をライブで楽しむ、ということの有難さでした。2023年は、そのシンプルな喜びを改めて音楽祭の柱とします。感染対策のために控えてきた従来の“お祭り感”も、再びサマーミュージーザに戻ってきます。キャッチフレーズの「お待ちどうサマー♪」には、再びステージと客席が感動を分かち合うことのできる喜びを込めました。キービジュアルの作曲家たちも真夏のリゾートアイランドからホールへ。そして単にコロナ前に戻るのではなく、次のステージへ向かおうという意思を込めて、新たな装いの作曲家たちとともに新たなスタートを切ります。



作曲家たちも新たな装いに。左からベートーヴェン、J.S.バッハ、ショパン、モーツァルト。

## 3 サマーミュージーザ2023の注目ポイント

### Point 1) 「お待ちどうサマー♪」 コロナ禍で見送ってきた関連イベントが復活！

コロナ禍で開催を見送ってきた関連イベントが“祭”の賑わいとともにもサマーミュージーザに戻ってきます。開幕を告げる**オープニング・ファンファーレ**(7月22日、ノット&東京交響楽団)は、ふたたびホール正面入口前の歓喜の広場で実施します。4年ぶりに歓喜の広場に響く『音楽のまちのファンファーレ』は、サマーミュージーザの賑わいの象徴。より多くの皆様にお届けするため、ライブ配信も行います。

また**若手演奏家によるミニコンサート**(7月19～21日)がリニューアルして復活。オーディションで選ばれた若手演奏家たちによる室内楽コンサートを、サマーミュージーザ開幕前の3日間にわたり入場無料のプレイベントとして歓喜の広場で開催します。

このほか、例年好評の**プレトーク**や**プレコンサート**、**ほぼ日刊サマーミュージーザ**刊行、近隣提携店舗でさまざまなサービスが受けられる**パートナーショップ**などのプラスαのお楽しみも引き続きご用意してお待ちしております。

## Point 2) 各オーケストラが「原点回帰」、名曲&大曲で真っ向からオーケストラの魅力を競う

7月22日の開幕は、毎年抜群のプログラミング・センスで聴衆を唸らせてきた**ジョナサン・ノット&東京交響楽団**。今年は一味違います。プログラムはチャイコフスキーの交響曲3番『ポーランド』&4番。実はノット自身が密かに意欲を燃やしていたチャイコフスキーの交響曲は、本邦初お披露目となります。ノット新章の予感に期待は高まるばかり！



7月26日は、**東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団**&常任指揮者・**高関健**の名コンビで贈るオール・アメリカン・プログラム。パリのアメリカ人、ラプソディ・イン・ブルー、シンフォニック・ダンス、と20世紀アメリカ音楽の巨人ガーシュウィン&バーンスタインの名曲が勢揃い。ザッツ・エンターテインメント！な一日をどうぞ。

7月28日は、**東京都交響楽団**・音楽監督9年目の**大野和士**が、2015年以来8年ぶりのサマーミュージア再登場を果たします。シベリウスの交響曲では最も人気の高い第2番に、ニールセン晩年の序曲『フェロー諸島への幻想旅行』などスパイスの効いた北欧プログラムで、どこまでも深く遙かな景色を見せてくれるでしょう。

7月29日は、**NHK交響楽団**のロシアン・プログラム。近年はドイツを中心に活躍する**キンボー・イシイ**との『シェエラザード』には、コンマス郷古廉の艶やかで美しいヴァイオリン・ソロが寄り添います。

8月1日は、**読売日本交響楽団**・常任指揮者の**セバステイアン・ヴァイグレ**がサマーミュージア初登場。歌劇場のキャリアも長く、パイロイトでも喝采を浴びた名匠がワーグナー(デ・フリーヘル編)の「ニーベルングの指環」～オーケストラ・アドヴェンチャー～で壮大な「指環」の世界を緻密に描き出します。

8月2日は、2021年のハチャトゥリアン国際コンクールで優勝し一躍脚光を浴びた俊英、**出口大地**が**東京フィルハーモニー交響楽団**とともにサマーミュージア初登場。仮面舞踏会のワルツを名刺代わりに、ベルリオーズの幻想交響曲などを取り上げます。

8月6日は、2024年末での引退を宣言している**井上道義**が盟友・**新日本フィルハーモニー交響楽団**とともにベートーヴェンの『田園』&『運命』で直球勝負！プレトークでもその意図を語ります。

8月9日は、瞬く間に首席指揮者への就任が決まった**カーチュン・ウォン**が**日本フィルハーモニー交響楽団**と満を持して登場。『展覧会の絵』のほか、TV・劇伴・クラシックと多方面で大活躍の作曲家菅野祐悟のサクソ協奏曲など、カラフル&パワフルなプログラムをお届けします。

8月10日は、昨年、**神奈川フィルハーモニー管弦楽団**の音楽監督に就任した**沼尻竜典**がサマーミュージアに2008年以来15年ぶりの再登場。R.シュトラウスの大曲『英雄の生涯』では、伸びやかで勇壮な英雄のテーマとともに“組長”石田泰尚率いる神奈川フィル新時代のサウンドを響かせてくれるでしょう。

そして8月11日、**東京交響楽団**フィナーレコンサートは、正指揮者・**原田慶太楼**カラー全開！『眠りの森の美女』組曲にラヴェル、アルトゥロ・マルケス、芥川也寸志、と百花繚乱の色彩とリズムをお楽しみください。

さらに出張サマーミュージア@しんゆりでは、2018年のサマーミュージアで鮮烈なN響デビューを飾った**熊倉優**が**神奈川フィルハーモニー管弦楽団**と二人のソリストを迎えてのフランス・プログラム(7月29日)、そして**広上淳一**&**東京交響楽団**が今年生誕150年のラフマニノフの交響曲2番(8月5日)など、聴きごたえたっぷりのプログラムをお届けします。

### Point 3) 旬のピアニストが大集合！サマーミュージア×ピアノ



2023年のサマーミュージアでは、旬のピアニストたちが大集合！2021年ショパン・コンクール第3位&コンチェルト賞のマルティン・ガルシア・ガルシア(7月29日、N響)、同セミファイナリストの古海<sup>やすこ</sup>行子(7月29日、神奈川フィル@しんゆり)、2017年ミュンヘン国際音楽コンクール第3位&委嘱作品特別賞を受賞しベルリンを拠点に活躍する久未航(7月28日、都響)という注目の若手から、横山幸雄(7月26日、東京シティ・フィル)、清水和音(8月2日、東京フィル)のベテラン勢、メディアでも引っ張りだこの清塚信也(8月11日、東響)、辻井伸行(8月10日、神奈川フィル)という豪華ラインナップでお届けします。

もちろんホールアドバイザー小川典子(8月5日、イツ・ア・ピアノワールド)のキッズ向け名物公演も健在。コロナ禍で実施を見送っていた子どもたちが舞台上で聴く体験も今年は復活します。

さらにこの4月にミュージアのホールアドバイザーに就任するジャズ・ピアニスト宮本貴奈のスペシャル企画「サマーナイト・ジャズ」(7月23日)にはこの日のために超豪華ゲストが集結！こちらもお聴き逃しなく。

⇒[参考] 宮本貴奈プロフィール

### Point 4) 全国からは、山形交響楽団と日本センチュリー交響楽団の2団体が登場！

首都圏以外のオーケストラを楽しめるのもサマーミュージアの魅力。2023年は山形交響楽団と日本センチュリー交響楽団の2団体が初登場します。山形交響楽団は首席客演指揮者の鈴木秀美と古典～ロマン派プログラム(7月30日)、日本センチュリー交響楽団はミュージックアドバイザーの秋山和慶とドヴォルザークの交響曲8番ほかで登場(8月8日)。西と東、それぞれの2管編成オーケストラの個性をぜひ聴き比べてください。

⇒[参考] 各楽団 指揮者メッセージ&プロフィール

#### ■参考:これまでの首都圏外オーケストラ参加状況

|                   |   |
|-------------------|---|
| 2017年7月23日        | オーケストラ・アンサンブル金沢(特別参加)<br>主催:公益財団法人 石川県音楽文化振興事業団             |
| 2017年7月31日        | PMF オーケストラ(特別参加)<br>主催:公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会/札幌市 |
| 2019年8月2日         | PMF オーケストラ(特別参加)<br>主催:公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会/札幌市 |
| 2019年8月4日         | 仙台フィルハーモニー管弦楽団  |
| 2020年8月1日         | 群馬交響楽団  |
| 2021年7月25日        | オーケストラ・アンサンブル金沢   |
| 2021年8月4日         | 京都市交響楽団   |
| 2022年8月5日         | 大阪フィルハーモニー交響楽団  |
| <b>2023年7月30日</b> | <b>山形交響楽団</b>   |
| <b>2023年8月8日</b>  | <b>日本センチュリー交響楽団</b>   |

## [参考] プロフィール&メッセージ

### 【7月23日出演】宮本貴奈 ピアノ&ヴォーカル、作・編曲

国際的に活躍するピアニスト・作・編曲家。物語が見えるようなサウンド、繊細かつダイナミックで多彩なプレイで、ジャズ、ポップスから弾き語り、オーケストラまで幅広く活躍。バークリー音大&ジョージア州立大修士卒。エドマン・ジャズピアノ大会で全米優勝、参加作が米グラミー2部門ノミネート。「アトランタベストジャズ(2年連続)」「ジョージア州で最も影響力のある女性」他受賞多数。20年米英(ボストン、NY、アトランタ、ロンドン)を拠点に活動後 2013年に帰国、八神純子、佐藤竹善、サラ・オレイン、小野リサ、May J.、稲垣潤一等と共演、アレンジ・プロデュース、ビッグバンド・オケ編曲・音楽監督、劇版音楽まで幅広く手がける。2020年【ワンダフル・ワールド】発表、ミュージックペンクラブ音楽賞全ポピュラー部門最優秀作品賞受賞。茨城県結城市出身。国立音楽大学講師。2023年4月よりミュゼ川崎シンフォニーホールのジャズ部門ホールアドバイザーに就任。[www.takana.net](http://www.takana.net)



### 【7月30日出演】山形交響楽団

#### 〈指揮者メッセージ〉

指揮者としての山形交響楽団とお付き合いがちょうど10年目になった今、ミュゼ川崎で演奏できる機会をいただけて大変嬉しく思っております。ヴァイオリンの石上真由子さんとは他の仕事でお会いしていますがコンチェルトの共演は今回が初めてで、新しいベートーヴェンの響きが作れるであろうことを大いに期待しています。シューベルトの『ザ・グレート』は以前山響と演奏してから既に9年が経っており、その間私達がどのように変わってきたか、お互いに感じつつ音楽造りができることでしょう。圧倒的なスケールの作品ですが、フレーズや楽章のあちこちには絵画を観るような瞬間があり、次々と歌が紡がれて夢が広がります。どうぞお楽しみに！  
山形交響楽団 首席客演指揮者 鈴木秀美



\* \* \*

#### 山形交響楽団 ～食と温泉の国のオーケストラ～

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。山形テルサ・酒田・鶴岡での定期演奏会、東京・大阪での「さくらんぼコンサート」、山形県下で毎年3万人以上の青少年に“感動”を届けるスクールコンサートなど、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。

2007年、飯森範親(2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立している。2006年、オーケストラの自主レーベルとしては日本初となるCDレーベル『YSO live』を立ち上げ、2007年から2015年まで8年半にわたる壮大なプロジェクト、「アマデウスへの旅」(モーツァルト交響曲全曲演奏会)を開催、2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2017年「モーツァルト交響曲全集」を発売、第55回レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。

2020年6月より、常任指揮者阪哲朗とともに「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」をスタート。全集DVD制作とインターネット配信を通じて、山響の新たな魅力を発信している。2022年、創立50周年を迎えた。

常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親。

<https://www.yamakyō.or.jp/>

●クラシック専門ライブストリーミングプラットフォーム「CURTAIN CALL」▶ <https://curtaincall.media/yamakyō>

●山形交響楽団公式 YouTube チャンネル ▶ <https://www.youtube.com/c/YamagataSymphonyOrchestra>



© Kazuhiko Suzuki

## 【8月8日出演】日本センチュリー交響楽団

### 〈指揮者メッセージ〉

今年のフェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2023 に、私がミュージックアドバイザーを務める大阪の日本センチュリー交響楽団と共に招いていただきとても嬉しく思います。ミュージックアドバイザー4 シーズン目を迎えて、初期ロマン派の作品に重点を置きながら内容の濃い演奏を関西の皆様披露しています。今回採り上げるシューベルト:交響曲第5番、ドヴォルザーク:交響曲第8番でも、これまでの共演で培ってきた成果が遺憾なく発揮できると思います。この機会に大阪にこんなオーケストラがあるのだと覚えていただければ嬉しいです。また、ソリストのHIMARIちゃんとブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番を共演できるのも楽しみです。みなさんのお越しをお待ちしています。

日本センチュリー交響楽団 ミュージックアドバイザー 秋山和慶

\* \* \*



### 日本センチュリー交響楽団 ～街に響く。心に届く。～

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、演奏活動は高い評価を得ている。

オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念のもとに、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとしての発展を目指し活動している。

<https://www.century-orchestra.jp/>



### 【本資料に関するお問合せ】

ミュージザ川崎シンフォニーホール 事業企画課 佐藤

Tel. 044-520-0100(代) / Email: [press@kawasaki-sym-hall.jp](mailto:press@kawasaki-sym-hall.jp)

>>プレス資料ダウンロード <https://link.directcloud.jp/02ls0nLiRM>

パスワード: FSMK2023 (使用期限 2023/8/31 まで)

# フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2023

## 各公演の聴きどころ

### ■7月22日(土) 東京交響楽団 オープニングコンサート ノット新章の予感！チャイコフスキー3 & 4 番

毎回凝ったプログラミングで聴衆を唸らせてきたジョナサン・ノット & 東京交響楽団が、まさかのチャイコフスキーの交響曲 3 番『ポーランド』& 4 番！？実はノット、チャイコフスキーの交響曲を振ったのは数えるほどではあるものの密かに意欲を燃やしており、今回が本邦初披露というからこれは興味津々。透徹した目でスコアの隅々まで見通し、どんな名曲でも鮮やかな驚きをもたらしてくれるノット×チャイコフスキーの出会いに、新たな伝説の予感が止まらない！



### ■7月23日(日) サマーナイト・ジャズ 宮本貴奈ホールアドバイザー就任記念スペシャル！

【サマーミュージザ×ピアノ Vol.1】

ピアニスト／ヴォーカリスト／作・編曲家としてマルチに活躍する宮本貴奈がミュージザのジャズ部門・新ホールアドバイザーに就任！ジャズ、ポピュラーのミュージシャンからも信頼厚い彼女の就任披露公演に、各界から超豪華メンバーが一堂に会し、華やかに祝います。まずは挨拶代わりにピアノ・ソロ、弾き語り、そしてジャズの基本ピアノ・トリオはパット・グリーン(ベース)とデニス・フレーゼ(ドラムス)の国際派トリオ。ゲストにスーパーブラスタース(中川英二郎 Tb / エリック・ミヤシロ Tp / 本田雅人 Sax&Fl)の名手 3 人、さらに八神純子と佐藤竹善のヴォーカルも加わりま。ジャズスタンダードから、ゲストのオリジナル曲、今年惜しくも他界したメロディ・メーカー、バート・バカラックのトリビュート特集まで、新ホールアドバイザー宮本貴奈の魅力を多角的に楽しめる 2 時間半！さらに豪華ゲストも交渉中、どうぞご期待ください。





---

■7月25日(火) 洗足学園音楽大学  
バレエとオーケストラで魅せる物語

毎年楽しみにしているファンも多い洗足学園のバレエ公演。フル・オーケストラの手前にバレエを配し、目の前で繰り広げられるダンサーたちのダイナミックな踊りと、生のオーケストラが奏でる迫力のサウンドを一挙にご堪能いただけます。今年は躍動的で美しい旋律が印象的なベルリオーズの『ロメオとジュリエット』や、ワーグナー『タンホイザー』序曲\*、グノー『ファウスト』\*などの音楽とバレエのコラボレーション。洗足音大の芸術監督・秋山和慶が磨き上げた若き才能たちに、谷桃子、東京シティ・バレエ、牧阿佐美という日本を代表するバレエ団も加わってお贈りするスペシャル・ステージ、お見逃しなく！



\*追加曲目決定(3/27 現在)

---

■7月26日(水) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

新時代の先駆者たち～アメリカン・オールスターズ～

【サマーミュージア×ピアノ Vol.2】

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 & 常任指揮者・高関健の名コンビで贈るオール・アメリカン・プログラム。20 世紀アメリカ音楽界の黄金期をつくった二人の先駆者たち—ジョージ・ガーシュウィン(1898-1937)、レナード・バーンスタイン(1918-1990)—の人気作品、パリのアメリカ人、ラプソディ・イン・ブルー、そしてシンフォニック・ダンスを一挙に聴ける、ザッツ・エンターテインメント！なコンサート。バーンスタインのユーモアがたっぷり詰まったディヴェルティメントが聴けるのも嬉しいポイント。



---

■7月28日(金) 東京都交響楽団

耳から納涼♪北欧名曲選

【サマーミュージア×ピアノ Vol.3】

東京都交響楽団・音楽監督 9 年目を迎える大野和士が、2015 以来 8 年ぶりのサマーミュージア再登場！フィンランドの国民的作曲家シベリウスの雄大かつ最も人気の高い交響曲第 2 番、ノルウェーが生んだグリーグの傑作コンチェルト、そしてデンマークからニールセン晩年の序曲『フェロー諸島への幻想旅行』とスパイスも効いた北欧プログラムで、どこまでも深く、遙かな景色を見せてくれるはず。ピアノの久末航はベルリンを拠点に活動し、難関のミュンヘン国際音楽コンクール(2017)で第 3 位を受賞するなど内外で活躍の場を広げるピアニスト。次代を担う若手との共演にも期待大！



---

## ■7月29日(土) NHK 交響楽団

### ガルシアのラフマニノフと魅惑の『シェエラザード』

【サマーミュージア×ピアノ Vol.4】

毎年完売必至の NHK 交響楽団は、近年ドイツを中心に活躍するキンボー・イシイとのロシアン・プログラム。まず注目は 2021 年のショパン・コンクール第 3 位&コンチェルト賞で一躍人気ピアニストとなったマルティン・ガルシア・ガルシアのラフマニノフ2番。じつはミュージアの響きが大のお気に入り！とのこと、豊かな歌心で音楽の喜びがあふれ出すようなピアノを是非ホールで体験して。後半はめくるめくアラビアン・ナイトの世界へ。命を賭して語られる愛と冒険の物語に、コンマス郷古廉の艶やかで美しいヴァイオリン・ソロが寄り添います。



---

## ■7月29日(土) 出張サマーミュージア@しんゆり！ 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

【会場:テアトロ・ジューリオ・ショウワ】

### 変幻自在！フランスからのハーモニー

【サマーミュージア×ピアノ Vol.5】

2018 年のサマーミュージアで鮮烈な N 響デビューを飾った熊倉優が、カラフルなオール・フランス・プログラムで神奈川フィルとともに再登場。若きプーランクと天才興行師ディアギレフとのコラボで生まれた洒落なバレエ音楽『牝鹿』に、幅広く活躍する実力派チェリスト横坂源、2021 年ショパン・コンクールのセミファイナリスト古海行子のふたりをソリストに迎えて、チェロ、そしてピアノと二つの協奏曲を一度に聴けるのも嬉しい。フィナーレはボレロで熱狂の渦へ！



---

## ■7月30日(日) 山形交響楽団

### 山響×鈴木秀美 クラシックの真髄プログラム

食と温泉の国から、山形交響楽団がサマーミュージアにやってくる！同団の首席客演指揮者として 10 年目を迎え、円熟の関係にある鈴木秀美とともに、古典・初期ロマン派の傑作を携えて初登場。鈴木が驚愕する才能、ヴァイオリンの石上真由子を迎えてベートーヴェンの重厚なコンチェルトと、亡きベートーヴェンへの敬慕の念が込められたというシューベルトの壮大な“ザ・グレート”。古楽の名手として世界で引っ張りだこの鈴木秀美×ナチュラルブラスのオーケストラ、シンプルだからこそ際立つ美の世界を心ゆくまで味わいたい。



---

## ■8月1日(火)読売日本交響楽団

### サマーミュージア初登場！オペラの名匠ヴァイグレ×指環

読売日本交響楽団の常任指揮者セバスティアン・ヴァイグレが待望のサマーミュージア初登場！長年フランクフルト歌劇場のシェフを務め、ワグネリアンの聖地バイロイトでも高い評価を受けた名匠が選んだのは、ワーグナーの《ニーベルングの指環》の名シーンを約70分にぎゅっと凝縮した管弦楽ハイライト版。オペラを知り尽くすシェフが、神々と人間たちが織り成す壮大な《指環》の世界を、精緻にそして情感豊かに描き出します。真夏こそ、ワーグナーの雄弁な音楽にどっぷりと浸る一夜を。前半は、ワーグナーが敬愛してやまないベートーヴェンの、明朗快活な交響曲8番をどうぞ。



---

## ■8月2日(水) 東京フィルハーモニー交響楽団

### 俊英マエストロ&円熟のピアニスト ～ドラマティック名曲集～

【サマーミュージア×ピアノ Vol.6】

いま最も注目される若手指揮者のひとり、出口大地によるドラマティックなプログラム！まずは2021年ハチャトゥリアン国際コンクールで第一位に輝いた出口の名刺代わりに、フィギュアスケートでもすっかりお馴染みになった「仮面舞踏会」ワルツを。円熟の名手・清水和音がチャイコフスキーで奏でる広大なロシアの響きに胸を熱くし、「幻想交響曲」では恋に焦がれた作曲家の“悪夢”にちりばめられたモチーフが躍り出す！俊英マエストロが紡ぐ名曲揃いの華やかなプログラムに、心をぐっと掴まれそう。



---

## ■8月5日(土) こどもフェスタ [4歳から入場可]

### イツツ・ア・ピアノワールド

ノリコがご案内する、楽しくって素敵なピアノの世界へようこそ！イツツ・ア・ピアノワールドは、ロンドンに拠点を置く国際派ピアニスト小川典子がライフワークとして続けている子どもたちのためのコンサート。良い意味で“手加減しない”、しっかり聴きごたえのあるプログラムを楽しい解説とともにお届けします。さらに舞台上のピアノをぐるりと取り囲むようにして子どもたちが聴けるコーナーが復活！パワフルな打鍵から伝わる空気の振動、演奏者の集中力、ホールに満ちていく音……。コンサートのドキドキワクワクをからだ中で体験する機会、ぜひこの夏の思い出に加えてください。



---

## ■8月5日(土) 真夏のバッハ VIII

### オルガンで聴くバッハ、チェンバロで聴くバッハ

J.S.バッハが切り拓いた深遠なる鍵盤楽器の世界がここに！オルガン&チェンバロ、両楽器のスペシャリストである大塚直哉が、ミューザの大オルガン、ポジティブオルガン、チェンバロを駆使してその魅力を余すところなくお届けします。チェンバロ協奏曲は、オルガンソロ版と思われる異稿が残っていたり、別作品にオルガンとオーケストラという形で転用されたりと、バッハ自身が同じ曲を「いろいろな鍵盤楽器で」楽しんでいた様子。そんな歴史をミューザでご覧あれ♪



---

## ■8月5日(土) 出張サマーミューザ@しんゆり！ 東京交響楽団

[会場:テアトロ・ジューリオ・ショウワ]

### 夏の休日、愉悦とロマンの夕べ

しんゆり公演もう一つのプログラムは、「フランス・バレエ音楽の父」ドリーブの名作バレエ『 Coppélia 』の組曲を。有名なワルツをはじめ、フランスの気品と優雅さ、そして愛らしく美しいメロディ満載の魅力的な作品です。後半は今年が生誕 150 周年のメモリアル作曲家・ラフマニノフの代表作、交響曲第 2 番。ドリーブの心躍る音楽と、ラフマニノフの溢れる情熱とロマンがたっぷり詰まったシンフォニー。宝石箱のようなプログラムを名シェフ広上淳一の指揮で。愉悦に満ちた素敵な夏の休日をお過ごしください。



---

## ■8月6日(日) 新日本フィルハーモニー交響楽団

### 道義のザ・ベートーヴェン！

2024 年末での引退宣言後、自作オペラの上演などますます精力的な活動に目が離せない井上道義。昨年の読響とのハイドン&ブルックナーの凄演に続いて、今年のはかつて音楽監督も務めた盟友・新日本フィルとタッグを組みます。プログラムはベートーヴェンの『田園』『運命』、超ストレートど真ん中！！誰もが知る名曲中の名曲でありながら、指揮者にとっては知れば知るほど恐ろしい曲でもあるベートーヴェンのシンフォニー。さらなる頂を求めて挑戦を続ける井上道義のザ・ベートーヴェン、となれば逃す理由なし。プレトークでは、プログラムに込めた意図が明かされるはず。



---

## ■8月7日(月) 昭和音楽大学

### 若き音楽家たちが祝う、ラフマニノフ生誕 150 周年

昭和音大の学生と音大卒業生の若手演奏家たちで構成されるふたつのオーケストラが、百戦錬磨の講師陣とともにじっくり作り上げるコンサート。今年  
は昭和音楽大学教授の時任康文の指揮のもと、モーツァルトの珍しい単一楽章のシンフォニー、フォーレの愛らしい『ドリー』組曲、そして生誕 150 周年のラフマニノフから生涯最後の作品にして最高傑作とも称される「交響的舞曲」をお贈りします。若さならではのストレートな熱量と集中力で、毎年大きな感動を呼んでいる学生公演。オーケストラが渾然一体となる壮大なラストには、この瞬間に懸ける若き情熱が沸き立つ！



---

## ■8月8日(火) 日本センチュリー交響楽団

### おのおさか 天下の台所からクラシックフルコース

首都圏以外のオーケストラの参加もフェスタサマーミュージアの大きな魅力。2023 年は関西から日本センチュリー交響楽団が初登場！同団ミュージックアドバイザーの秋山和慶が「この楽団の魅力が一番詰まっている」と選曲したシューベルトの交響曲 5 番、そして精緻なタクトで奏でられるドヴォルザークの叙情豊かな交響曲 8 番はいずれも熱気のコもった名演の予感。世界が注目する HIMARI は欧州の主要な国際ジュニアコンクールを次々制覇し、数多くのオーケストラと共演を重ねる 11 歳の天才ヴァイオリニスト。その堂々たる姿と音色に驚嘆すること間違いなし！西から吹く熱風を涼しいミュージアでお楽しみください。



---

## ■8月9日(水) 日本フィルハーモニー交響楽団

### カーチュン・ウォンの描く『展覧会の絵』

瞬く間に首席指揮者への就任が決まったカーチュン・ウォンと日本フィルハーモニー交響楽団のコンビが満を持してサマーミュージアに登場。日本サクソフォン界のレジェンド・須川展也が、TV、劇伴、そしてクラシックと多方面で大活躍の作曲家・菅野祐悟に委嘱した『Mystic Forest』(2021)は桜、紅葉、雪景色という日本の風景をイメージした美しくエモーショナルな作品。実はカーチュン・ウォン自身が菅野の大ファン！とのことで、その化学反応も楽しみ。絢爛豪華な音の絵巻『展覧会の絵』とともに、才気溢れる期待のマエストロ×日本フィルのカラフル&パワフルなプログラムに乞うご期待！



---

## ■8月10日(木) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

### 辻井のショスタコと熱狂の『英雄の生涯』

【サマーミュージア×ピアノ Vol.7】

昨年、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督に就任した沼尻竜典がサマーミュージアに2008年以来15年ぶりの再登場。オペラを数多く指揮する沼尻監督の『英雄の生涯』では、まるでオペラの登場人物のように様々な旋律やハーモニーを楽しめるでしょう。勇壮な英雄のテーマとともに、“組長”石田泰尚率いる神奈川フィル新時代のサウンドをご堪能あれ。サマーミュージア初登場となるピアニスト・辻井伸行はショスタコーヴィチの協奏曲2番を。軽やかに力強く、優美に美しく、そして圧倒的なラストへとめまぐるしく展開するコンチェルトをライブで体感してください。



---

## ■8月11日(金・祝) 東京交響楽団 フィナーレコンサート

### リズム！メロディ！！慶太楼！！

【サマーミュージア×ピアノ Vol.8】

音楽祭のグランド・フィナーレを飾るのは、東響正指揮者・原田慶太楼！スペイン、リズム、ダンス、土着、郷愁……そんなキーワードが思い浮かぶ万華鏡のようなプログラム。バスク地方のリズムが香る「道化師の朝の歌」、キューバ発祥の古いダンスに着想した、物悲しいメロディとリズムが交錯する「ダンソン第9番」、そしてジャズの要素も含むラヴェル最晩年の協奏曲では、マルチに活躍する人気ピアニスト清塚信也が登場。原田が情熱をもって取り組む日本人作品から若き芥川也寸志の出世作も挟み、チャイコフスキーに始まったサマーミュージアは再びチャイコフスキーへ回帰、『眠りの森の美女』で華麗なる大団円へ！

